試験概要説明書

平成	年	月	H
1 /3/24	I .	/ 1	\vdash

1. 試験名称 申請書名称欄を転記				
2. 試験期間、時期及びラン数等		間(うち準備 日)、通風回数 ラン		
時期については第3候補まで、期間についてはそ	試験時期			
のうちの準備に要する日数も記入して下さい。	第1希望: 平			
	第2希望: 平			
	第3希望: 平	斌 年 月 日 ~ 月 日		
3. 試験概要 ・使用カート(複数カートがある場合) ・模型支持法(スティング・天秤等) ・模型(名称、形状、サイズ、重量、材質、強度安全率) ・アーク加熱風洞に於いては使用ノズルの種類(標準、高動圧)				
 4. 試験条件 ・気流条件 (風速、マッハ数、P₀) ・模型変角 (α、β、φ) 				
5. 計測項目 ・力計測(天秤、計測分力数) ・圧力計測(点数、センサー容量と台数、底面圧力) ・HWT 空力加熱(赤外線温度計測、センサー計測) ・可視化(シュリーレン) ・その他				
6. オプション計測				
計測範囲・方法、オプション計測適用ケース	詳細などを別途お知ら	せ下さい。		
計測項目		適用可能風洞		
□ デジタル/アナログ・ハイブリッド風洞 (DAHWIN)		TWT1		
□ PIV 計測(粒子画像空間速度場計測)		LWT1, LWT2, TWT1		
□ PSP 計測(感圧塗料表面圧力場計測)		LWT1, LWT2, TWT1, SWT1		
□ 模型変形量計測		LWT1, LWT2, TWT1, SWT1		
□ 騒音計測(マイクロホンアレイ)		LWT1, LWT2		
□ 赤外線温度計測(HWT 以外)		LWT1, LWT2, TWT1		
□ オイルフロー		LWT1, LWT2, TWT1, SWT1, FWT, HWT1, HWT2		
□ 乱流遷移ラフネス設置		LWT1, LWT2, TWT1, SWT1, FWT, HWT1		
□ 発光分光計測		AWT, PWT		
□ 高速度カメラ計測		LWT1, LWT2, TWT1, SWT1, FWT, HWT1, HWT2		
7. 特記事項				

- 空力技術研究ユニットの12 風洞に申し込む場合は本書面にも記入してご提出ください。
 (1)6.5m×5.5m 低速風洞、(2)2m×2m 低速風洞、(3)0.65m×0.55m 小型低乱風洞、(4)2m×2m 遷音速風洞、(5)0.8m×0.45 高 Re 数遷音速風洞、(6)1m×1m 超音速風洞、(7)1.27m 極超音速風洞、(8)0.5m 極超音速風洞、(9)0.44m 極超音速衝撃風洞、(10)750kW アーク加熱風洞、(11)110kW 誘導プラズマ加熱風洞、(12)0.6m×0.6m遷音速フラッタ風洞
- 必要に応じて別途説明資料を添付してください。